



RIKKYO UNIVERSITY  
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE  
2022. 3. 25



こんにちは。ボランティアセンターメールマガジン 2021 年度最終号です。  
ご卒業の皆さんおめでとうございます。  
晴れてこの門出の日を迎え、一人ひとりたくさんの思いがよぎることと思います。  
人生は一期一会、たくさんの出会いの積み重ねが「人」を作ります。  
振り返ってみたときにそれが道となり自分の糧となるはずです。  
みなさんの将来のご活躍を心よりお祈りしています。

**【退職のご挨拶】**

ボランティアコーディネーターの茅です。  
3 月末をもちまして、立教大学を退職することになりました。  
立教での 5 年間で、私は人と関わること、人と繋がる大切さや尊さを、学生のみなさんを通して学びました。  
「ボラセン」は、ただボランティアを紹介する場ではなく、自分の「現在地」を知る場所、失敗したり悩んだりしたときに戻る場所、充電器のような存在であつたらいいなと思いつながら仕事をしてきました。  
人生は遠回りでもいいと思います。大学や社会の中には、ショートカットは素晴らしい、得であると思う傾向があります。「早い、短い」ことは正しく、成功のバロメーターのように捉える節もあります。でも、急行電車では見えない景色もあります。鈍行の普通電車でもいいし、時には間違つて反対の電車に乗ってもいいと私は思っています。  
肝心なのは、そのときに見えた「景色」を忘れないでいること、経験や失敗を人に笑つて語れるぐらい自分の中に落とし込むことです。  
人生は長いです。ぜひキャンパスを飛び越えて多くの人と出会い、現場の「生」に触れ、本当の「豊かさ」を感じてください。応援しています。

茅 英美



## CONTENTS

- (1) ボランティアセンターからのお知らせ
- (2) 学生コラム
- (3) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報
- (4) オンラインで参加できるボランティア・イベント等の紹介

---

---

### (1) ボランティアセンターからのお知らせ

---

---

#### 3月22日以降のボランティア活動について

3月21日に「まん延防止等重点措置」が解除され、本学の活動制限指針（課外活動）の制限レベルが「1」に引き下げられました。

現時点では、オンラインでの活動を強く推奨しますが、活動の性質上必要な場合に限り、感染拡大に最大限配慮することを条件として、学内外において対面によるボランティア活動を認めます。

#### 【ボランティア活動を検討する際の注意点】

学生のみなさんが参加するボランティア活動が、新型コロナウイルスの感染の拡大につながる危険性があることをふまえて、周到な準備と慎重な行動をすることが求められます。

ボランティア活動においても、本学の『課外活動マニュアル』に基づき、適切な行動を行うことが求められますので、必ず確認してください。

なお、本学としてはまだ宿泊を伴うボランティア活動を認める状況ではないと考えておりますので、引き続き自粛してください。

具体的には、

- ①感染予防対策を行うこと
- ②連絡先・行動履歴を把握すること
- ③活動先と感染予防対策・感染情報についての十分なコミュニケーションを取り、活動先の感染予防対策に従うこと

#### ④保護者の同意を得ること

が必要となります。

★活動に関して不明な点などがありましたら、ボランティアセンターにご相談下さい。

volunteer@rikkyo.ac.jp

#### ○RSL&VC 協同企画の開催報告

3/3 (木) に公開講演会「学生ができる社会活動 (入門編) —池袋地域の学習支援事業の実際を知ろう!—」が開催され、18名の学生が参加しました。

第1部は、ゲストスピーカーによる池袋地域の社会的課題や取り組みに関する講演で、教員のご経験があり、現在弁護士として活躍されている松宮先生より、子どもの貧困の基礎知識について、ボランティアを行った人たちの感想なども交えて、池袋周辺の学習支援のリアルな状況をお話ししていただきました。

第2部は、グループに分かれて、学生同士で、その後は全体で松宮先生との意見交換を行いました。池袋地域の学習支援という一つのテーマで「大学生ができること」について話し合う中で、他学部の学生の視点や意見に触れ、それぞれが影響を与え合っていました。講演会をきっかけに、もっと学習支援について知りたいと来談する学生、また支援団体に自ら連絡をしたという学生もいて、この企画が、漠然としたイメージから一歩踏み出すきっかけとなり、私たちスタッフもうれしく思います。

池袋は、学習支援×多文化共生×ダイバーシティなどを学ぶことのできる機会がたくさんありますので、今後も池袋地域で大学生ができることをみんなで考えられる企画を準備していく予定です。



#### ○ボランティアサミットの開催報告

3月8日(火)にボランティアサミットが終了しました。池袋・新座キャンパスのボランティアサークル16団体がオンラインで繋がり、現在の活動について、新歓活動について情報共有をしました。

また、ボランティアセンターからは、活動をするに際しての諸注意等も共有しました。サークル同士が互いに交流する機会実はあまり多くはありませんが、様々な活動に触れることで、自分たちの活動の意義や方向性について考えてもらえたらと願っています。

参加者のみなさんありがとうございました。



---

---

## (2) 学生コラム

---

---

今回は NPO 法人「きっかけ食堂」で活動をしている観光学部交流文化学科 4 年生の山田一衣さんのコラムです。「きっかけ食堂」は東日本大震災復興支援を通して、「東北を知る」きっかけづくりの活動をしています。

\*\*\*\*\*

家具が倒れ、瓦礫でめちゃくちゃになった家の中には、コートがかけっぱなしになっていました。埃をかぶって灰色になっていましたが、そこには確かに人の生活した跡がありました。

私が初めて震災の爪痕を目の当たりにしたのは、震災から 10 年が経とうとしていた春先の福島県双葉町でした。そのとき私は、友人と東京から北を目指す放浪の旅の最中。途中下車したこの駅には私たち 2 人だけ。出発前に見た報道の盛り上がりとは裏腹に、全線開通した常磐線の駅はとても静かで、私たちは息をころすように町を歩きました。

そのあと訪れた宮城県の沿岸部では、子どもたちの遊ぶ姿を見ました。地上げされた土地に立つ、まだ褪せていないカラフルな遊具で遊ぶのは当時を知らない子どもたちでしょうか。そのふたつの町の姿に、私の心は大きく揺れました。

毎年のように訪れ親近感を持っていたはずの東北に対して、どこか線を引いていた自分に気づきました。

「東京にいる私が何かしたいと思うのは、おこがましいかもしれない。」  
当時はそのように思い、今まで引いていた線をさらに濃くしてしまいました。  
東京に帰ってきてからしばらくは、その釈然とした想いに蓋をして過ごしていました。  
そんなとき、大学の友人が東北に関わる団体で活動をしていると知りました。  
その団体が企画するイベントに試しに行ってみることにしました。

そこは運営メンバー、参加者、関係なく、全ての人たちの思いが交差する空間でした。その時食べた鮭の炊き込みご飯や、ホタテの浜焼きなど三陸の美味しい料理とお酒の味とあったかい雰囲気は今でもよく覚えています。

「それぞれが心地よい距離感で、できることをする。」

その根っこにある思いは等しく大切なものだと思うようになりました。

今、この瞬間も、東北を思い、誰かのために奔走するメンバーたちが全国にいます。以前私が感じた線を難なく超えていく仲間たちを見ると、距離や立場を超えて、東北への想いを連鎖させていく仲間たちを誇らしく思います。

生気に満ちた東北の春を見に、そしてなによりお世話になっている人たちに会いに、早く東北に行きたいと思っています！！！！

(山田一衣 観光学部 交流文化学科 4年)

生まれも育ちも東京。曾祖母が岩手県在住なため、幼い頃から東北は身近な場所。東北の美味しいご飯とお酒に目がない。

**(3) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報**

みなさん、こんにちは！陸前高田サテライト事務局です。

東日本大震災から11年。この春卒業を迎える立教生に、東日本大震災を受け、どのような思いでどのような活動を行ってきたのかを振り返ってもらいました。

\*:・° 。\*:・° \*:・° 。\*:・° 。\*:・° 。\*:・° 。\*:・° 。\*:・° 。\*:・° \*:・° 。\*:・° \*:・° 。\*:・° 。

その言葉の背景にある思いとは

齋藤優太 (コミュニティ福祉学部4年)

\*:・° 。\*:・° \*:・° 。\*:・° 。\*:・° 。\*:・° 。\*:・° 。\*:・° 。\*:・° 。\*:・° \*:・° 。\*:・° \*:・° 。\*:・° 。

皆さんはじめして！この3月に立教大学コミュニティ福祉学部を卒業します齋藤優太です。私は、これまでの大学生活でサークルや大学のプログラムなどを通じ、東北での交流活動を行ってきました。その中でも、岩手県陸前高田市の一般社団法人で1か月間のインターンシップ活動に参加した経験は、特に私の財産となっています。

私は、高校生の頃に会った被災地での交流活動をきっかけに、大学生活でも様々な地域で活動を続けてきました。ただ、どの活動も短期間のものが多く、現地の方々との関係性を

深める難しさを感じていました。そこで、インターンシップで1か月間現地に住み込み、受け入れ先団体の方と共に地域の課題解決に向けて奮闘しました。

活動拠点である岩手県陸前高田市は、震災による影響で市街地が壊滅的な被害を受けた背景があります。その中で、震災で失われた以前の街の姿を模型で復元し、当時の記憶を次世代へ伝承する取り組みが受け入れ先団体で行われていました。そこで、私は地域住民の方に対して、その活動の認知度向上などを兼ねた街頭アンケートを実施しました。その際、ある地域住民の方から「どこの誰かわからない人が街で活動してほしくない」という厳しいお言葉を頂きました。正直、少し怖さを感じたのですが、それ以上にその言葉の背景にある思いに触れたいと考え、お話を続けたところ「震災後多くの方がボランティアに来たけれどもその足は遠のき、街に取り残された気分がする」という思いを知りました。その際、受け入れ先団体の存在や、活動の趣旨を説明させて頂いたところ、最終的には活動に対して理解を得ることができ、他愛のないコミュニケーションも生まれました。活動期間中は様々な理由で活動内容の変更を余儀なくされたのですが、地道に一人ひとりの地域住民の方と向き合うことができたことはとても貴重な経験でした。

このようなインターンシップをはじめとした被災地での活動は、私にとって計り知れない影響を与えてくれました。自分の目で確かめ、知ろうとすること。常に何のための誰のための活動であるか、目的意識を持つこと。物事の表面だけでなく、その本質を理解しようとする。これらの気づきは私の普遍的な信念として、血となり肉となっていると自信を持って言えます。そして、この信念をもとに、これまでに出会い、手を差し伸べてくださった方のように、深く・温かみのある人間になることが私の目標です。



左：街頭アンケートを実施する齋藤優太さん。

右：失われた街模型と齋藤さんらが作成した展示物

※NPO 法人 WIZ 主催「IWATE 実践型インターンシップ」

齋藤さんが参加したインターンシップです。毎年数名の立教生が参加しています。関心がある方は是非、チャレンジしてみてください！（2022年度の募集は準備中です）

<https://npowiz.org/scheme/intern.php>

---

\*お問合せ 立教大学陸前高田サテライト事務局 [rrs@rikkyo.ac.jp](mailto:rrs@rikkyo.ac.jp)

\*陸前高田サテライトの取り組みを発信中

公式 Instagram (@rikkyo\_rrs) [https://www.instagram.com/rikkyo\\_rrs/](https://www.instagram.com/rikkyo_rrs/)

\*『陸前高田プログラムガイド』

[https://spirit.rikkyo.ac.jp/rikutaka/SiteAssets/program\\_guide.pdf](https://spirit.rikkyo.ac.jp/rikutaka/SiteAssets/program_guide.pdf)

---

---

#### (4) オンラインで参加できるボランティア・イベント

---

---

##### 【NPO 法人きっかけ食堂】

地域と都市がつながるきっかけづくりをしてみたい！

「食」や「防災」、「観光」など、様々な観点から地域との関わり方を考えてみたい！

そんなみなさんへ

活動内容：・月一回開催している東北食材を使った食のイベント

- ・東北の自治体や企業と連携したイベントや販売促進などの企画運営
- ・オンラインでの防災イベントの主催

活動場所：ミーティングはオンライン、

食堂イベント(東京拠点)は東京神田「MID STAND TOKYO」

活動日時：定例ミーティングは月曜日（オンライン）

HP：<https://kikkake-syokudo.org>

##### 【公益財団法人東京 YMCA】

子どもの野外での活動支援のボランティアリーダー募集

活動内容：「ナナメの関係」子どもたちと自然が残る屋外で共に活動をします。子どもたちの引率、安全管理も役割の一つですが、YMCA では先生や親のような「タテの関係」ではなく、子どもたちにより近い「ナナメの関係」で共に活動をする仲間の1人として子どもたちと関わります。

##### 「0」から活動を創る経験

YMCA のボランティアの特徴は、子どもたちとの活動をボランティアの学生たち（リーダー）が「0」から創り上げていくことです。子ども達と共に過ごす場所や大切にしたいこと、プログラムの内容など週1回の準備会の中でディスカッションをし、活動当日を迎えます。

活動場所：新宿区「山手センター」世田谷区「南センター」江東区「江東センター」

活動日時：準備会は基本的に曜日を固定して毎週行います。

子どもたちと過ごす活動は基本的に月に1回の日曜日となります。

(編集/茅 英美)



---

立教大学ボランティアセンター

---

◎池袋キャンパス 場所：5号館1階

◎新座キャンパス 場所：7号館2階

◎ホームページ

[http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular\\_activities/volunteer.html](http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html)

◎メールアドレス [volunteer@rikkyo.ac.jp](mailto:volunteer@rikkyo.ac.jp)

◎TwitterID @rikkyo\_volucen [http://twitter.com/rikkyo\\_volucen/](http://twitter.com/rikkyo_volucen/)

◎Instagram [https://www.instagram.com/rikkyo\\_vc/?hl=ja](https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja)

配信停止を希望の場合は以下の Google Form を送信してください。

<https://forms.gle/xFtZVvd94Je1nJwm7>

---

(C)2019 RVC all rights reserved.

---